

令和3年12月14日

当院ご利用の皆様

周防大島町立大島病院
院長 松本 直晃

一包化サービスの終了並びに入院に伴う
受診時の薬の持参について（お願い）

このことについて、当院では開院時から院内処方を行っており、多種類の薬を服用中の高齢患者さんや、病状により薬をシートから取り出すことが難しい患者さんなどに対して一包化サービスを無料でご提供してまいりました。基本的に一包化は、何らかの事情により十分な服薬管理が今の環境では難しい方のための特別なサービスであり、ご自身で管理できる方にとっては必要の無いサービスです。

しかしながら、近年、**薬局の業務負担が増大**し、一包化サービスの継続が困難な状況となっています。一包化を行うことで飲みやすさや飲み忘れの防止につながる反面、元の包装を外してしまうことで患者さん自身がいづ処方された薬なのか間違えて服用してしまったり、一包化後の吸湿により品質が低下したりする薬もあるなど欠点もございます。

院内処方を行う当院では、令和3年12月14日より一包化サービスを随時見直し、手が不自由で薬を取り出すことが難しい方や、視力低下で薬をシートから取り出すことが難しい方など一包化が必要な方につきましては引き続き、医師の指示のもと、一包化を継続いたしますが、ご自身やご家族様、施設職員で服薬管理ができる方、している方におかれましてはご不便をお掛けいたしますが、一包化サービスを終了させていただくことにいたしましたので、ご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。

なお、当院で処方された薬でも処方医が治療上の必要性と服薬管理に係る支援の必要を認めた場合は外来服薬支援として近隣の保険薬局にて有料ではございますが、一包化することができますので、ご相談なさってみてください。

また、当院へご入院される際は、現在、服用中の薬とお薬手帳を受診時に必ずご持参くださいますようお願いいたします。